

愛媛大学 平成24年度土木海洋会だより

— 第18号 —

石鎚連峰



瀬戸内海

Mine Engineering
Civil Engineering
Ocean Engineering
Civil & Ocean Engineering
Civil & Environmental Engineering

土木海洋会

検 索

土木海洋会ホームページ

<http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~dokai/>

メールアドレス

dokai@cee.ehime-u.ac.jp

愛媛大学工学部環境建設工学科ホームページ

<http://www.cee.ehime-u.ac.jp>

目 次

ごあいさつ	(会 長 河野 徹 土木42年卒)	1
学科だより	(副会長 環境建設工学科 学科長 吉井 稔雄)	2
新任教員の挨拶	(准 教 授 渡辺 幸三)	4
資源・土質・地盤環境・地盤防災研究室新年会		5
支部だより	(関東支部幹事長 黒坂 佳司 海洋57年卒)	6
	(近畿支部幹事長 鈴木 忠彰 土木47年卒)	9
	(中国支部幹事長 村下 耕荘 海洋54年卒)	10
	(愛 媛 支 部 長 玉井 良二 土木54年卒)	
	副支部長 高橋 正雄 土木55年卒	
	幹 事 長 白石 誠 土海11年卒)	11
同窓会報告	(片上 尚男 鉱山35年入学)	17
	(河野 徹 土木42年卒)	18
平成24年度総会報告		20
会計報告		22
事務局だより		24

巻頭緒言

会長 河野 徹 (土木42年卒)



1965年のユネスコ・第3回成人教育推進国際会議において、「人間は生まれてから死ぬまで、あらゆる場所で勉強すべきである」、すなわち時間、空間を問わず常に学習しなければならないと言う事が提唱された。いわゆる生涯教育は①生活充足型(カルチャーセンター、市民公開講座)②資格取得型③専門職継続型がある。

その後1987年マドリッドでの世界医師会議で、プロフェッショナル・オートノミー(Professional Autonomy)宣言がなされ、Professionalの一つである医者は、自律・自制を持って生涯学習・研鑽に当たることを宣言し、国内でも同様な宣言をして自己の技術研鑽に当たっている。

1989年11月10日のベルリンの壁崩壊に引き続きソビエト連邦が解体され、それに伴い世界貿易体制がGATT体制からWTO体制に代わった。新しい体制では物の流れと同様、人の流れも自由にする動きがでてきた。

人の流れを自由にするといっても人材の質は、所有者のライセンスだけでは語れない。世界各国の事情によりそれぞれの質は異なる。そこでAPEC内でそれを合わせる試みが行われ、国内では日本工学会がそれに当たった。

その結果は教育制度改革で高等教育機関でのJABEE制度につながった。技術士試験の試験制度の改革では従来の実務経験に加え、JABEEを履修していない場合は1次試験が必須となった。継続研鑽としてのCPD(Continuing Professional Development)の制度導入がある。

日本は食料の需給率が39%とか、あるいは海外旅行に出かける日本人が年間1,700万人など、世界を相手にしないでは日常生活ですらできない状況である。とりわけ技術者の世界でも資格制度に国際化が進展・変革している。

建設技術者を取り巻く環境も同様に大きく変遷し、常に学び成長し続けなければ技術資格が維持できないような制度が土木学会などで出てきている。土木技術者はプロフェッショナルですから当然の事ですが、従来からそれをする癖が付いていないと難しく感じる人も多いかと思う。

建設関係の資格は他の部門の資格と比べると優遇されているものが多いが、それと同時に責務が付いている。学び続けることは容易ではないが、一緒に学びましょ

う。土木学会、技術士会など建設系CPD協議会では継続学習を50時間/年間、以上することを目標にしており、地方都市に在住するものにとっては学習機会が少ないため、一層困難な事でしょう。学習機会を増やすと言う意味で愛媛大学土木海洋会もADVANCED STUDY COURSEを再開しました。

同窓会活動は主として支部活動が主体となります。支部が設立されていない地区の会員の皆様におかれましては支部活動を運営される支部長・幹事長を決めて頂き、新しい支部設立を本部と協議して頂く事をお願い申し上げます。本会の会則第2条にあります、会員相互の親睦以外にも時代要請に応じて会員はなすべきことが多くなってきています。同窓会活動に参加して頂き、皆さんと共に生涯にわたり成長したいと考えています。

学科だより

学科だより

副会長 環境建設工学科 学科長

吉井 稔雄

はじめまして、今年度より学科長を仰せつかりました吉井と申します。環境建設工学科には、柏谷増男先生の後任として平成22年4月に着任し、土木海洋会のメンバーに加えて頂きました。

環境建設工学科におきましては、4月に渡辺幸三准教授をメンバーに迎え入れ、平成24年10月時点で、教授8名、准教授8名、講師4名、助教5名、兼任教員3名の計28名の教員と技術職員5名、事務職員1名、契約職員10名の計44名のスタッフで学科を運営しております。この2、3年の間に多くの女性契約職員の方々がスタッフに加わりましたので、学科内が華やかな雰囲気に変化してきているように思います。また、スタッフ一同一丸となって研究・教育活動に励んだ成果として、今年度は、岡崎慎一郎講師、高山雄貴助教が土木学会論文奨励賞をダブルで受賞し、岡村未対教授、安原英明准教授が地盤工学会論文賞を受賞しました。

学生の教育に関しましては、土木分野における要素技術の理解/習得にとどまらず、環境やエネルギー問題などに関する幅広い見識を備え、グローバルな視点を持って社会に貢献する技術者の育成に力を入れております。この技術者育成の一環

として、昨年度には社会デザインコースを開設いたしました。同コースの学生は、従来の土木コースの学生とは異なる資質を持っております。そこで、彼ら彼女らの個性を伸ばすべく、一年生から研究室に配属して卒業研究の手伝いをさせるなど、試行錯誤しながらの教育を行っております。また、時代の要請を受け国際化を加速しております。たとえば、Kanken Study Abroadプロジェクト (KSAプロジェクト) では、昨年度開始した韓国蔚山大学に加えて、今年度は台湾高尾大学と学部学生の交換留学制度を開始しました。同交換留学制度は、昨年度が3名の学生派遣と2名の学生受け入れであったのに対し、今年度は4名の派遣と4名の受け入れを行っています。今後も継続的に派遣および受け入れ学生数を増やし、当面の目標として、全学生の1/3を在学期間中に海外派遣できる体制を整えていきたいと考えています。一方の大学院教育におきましても、積極的に外国人留学生を迎え入れるとの方針の下、博士課程の学生にとどまらず修士課程にも外国人留学生を迎え入れることとなりました。これに伴いまして、現在日本語で実施している大学院講義を順次英語へと移行していく予定です。また、今後は日本人学生もこれら英語による講義を受講することになりますので、大学院に進学する学生の英語コミュニケーション能力向上が喫緊の課題となっています。

近年における卒業生の進路は、約1/3が大学院に進学、残りの約2/3が官公庁、建設業、製造業、運輸、情報産業など幅広い業種への就職となっておりますが、全体の傾向として公務員志望の学生が増えているようです。また、後輩に対する皆様の力強いご支援のおかげをもちまして、毎年ほぼ100%の就職率を達成しておりますことをご報告申し上げますとともに、心よりお礼を申し上げます。

最後になりましたが、我々スタッフ一同、土木海洋会の皆様が築きあげてこられた学科の伝統を守るとともに、さらなる発展に向けて努力して参りますので、今後とも暖かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



高尾大学との学術交流調印式



土木学会論文奨励賞のダブル受賞

着任のご挨拶

環境建設工学科

准教授 渡辺 幸三



はじめまして。環境建設工学科に着任いたしました渡辺幸三と申します。私は平成17年に東北大学大学院工学研究科土木工学専攻で博士課程を修了し、その後、東北大学で4年間ポスドク（任期付研究員）、その後3年間をドイツのベルリンにあるライプニッツ淡水生態学・内水漁業研究所をポスドクとして過ごし、長い放浪期間を経て、平成24年4月より愛媛大学に参りました。

愛媛大学では保全生態学研究室を担当させていただいております。応用生態工学という土木工学と生態学を橋渡しする比較的新しい境界研究領域を扱います。河川を主な研究対象として、人間社会と自然生態系が持続的に共存できる社会を構築するための研究を行っております。具体的には、河川生物のDNA塩基配列情報を使って、河川生態系の健全性を評価するための手法開発を進めております。

一昔前の河川管理では、洪水を起りにくいようにとか、ダムを造って発電しようとか、人の生活に直接影響があることだけを考えすぎた結果、多くの川で魚や昆虫などの生き物が棲みにくくなってしまいました。その反省から、例えば生物多様性を診断して、生き物が少なくなっている川の環境の自然度を高める治療を施すようになりました。

生態系診断では生き物の種数が基本的な指標となります。現在の診断では、川で生き物を採取し、体の形態を顕微鏡で観察して、図鑑などを照らし合わせて種名を判定して、種数を数えています。しかし、昆虫などの小さな生き物は、図鑑などに載っていない種（未記載種）が多く、正確に種数を数えられません。

そこで、私の研究室では体の形態に代わり、DNA塩基配列に基づいて種を定義する「DNA種分類法」の生態系診断への活用を提案しています。例えば、ヒトとチンパンジーなど、別種同士は塩基配列が違うというDNAの性質を活用します。環境中に様々なパターンのDNA塩基配列が見つければ、多くの生物種が生息していることになります。現在は流域や国土スケールの広域から集めた膨大な生物標本の種数を正確かつ迅速に診断する技術システムの開発を進めています。

愛媛大学に来てまだ日が浅く、試行錯誤の日々が続いておりますが、講義や研究

室での学生への教育では、分子生物学などの環境建設工学科の学生達になじみの薄い知識を基礎からわかりやすく伝えるように努めております。また、ドイツ時代に学んだ教員と学生との議論を大切にしたいスタイルを参考にし、学生のコミュニケーション能力を高めるように努めています。また、欧州で見聞してきた人々の環境への意識の高さ、EUの河川管理手法や自然再生など話題を交えながら、よりグローバルな視野からの環境を考えられる人材を育てたいと考えております。何事にも腰を据えてゆっくり取り込んでいく所存です。長い目で温かくお見守りいただければ幸いです。

新年会

資源・土質・地盤環境・地盤防災研究室新年会@奥道後

平成24年は矢田部龍一先生の還暦の年ということもあり、例年、愛媛県内のみならず案内している新年会を「還暦の会」として全国の卒業生に声をかけて行いました。

在校生を含め、45名の卒業生と国交省からは松山河川国道事務所 志々田所長、鳥居前防災情報研究センター長もお祝いに駆けつけていただきました。参加できない方たちからもお祝いをいただき、盛大に行うことができました。

<http://jibanbosai.exblog.jp/17065251/>



関東支部だより

関東支部幹事長 黒坂 佳司 (海洋57年卒)

異常に暑い日が続いた関東地区の夏も10月に入ってから急に涼しくなり、突然に秋が訪れた感じですが、皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

日本国内では未だ景気が回復せず、企業では、長引く円高による輸出産業への打撃、資源高/燃料高/電気料金高による各種コストの上昇、法人税高、貿易自由化の遅れ、労働規制強化による雇用を巡る負担増、CO₂ (二酸化炭素) 削減問題等、所謂“六重苦” / “七重苦” の状況となっております。さらに、尖閣諸島や竹島の問題を発端とした外交上の緊張の増大、中国における日系企業に対する放火/略奪行為・不買運動の発生と、ロンドンオリンピックでの日本人選手の活躍と山中教授のノーベル賞受賞のニュース以外は、暗く厳しい話題ばかりになってしまっております。

そのような外部環境の中、関東支部といたしましては、「会員各位間の親睦を深め、新たな発見のために少しでもお役に立ちたい」との、関東支部発足以来引き継がれてきた使命感の下、平成23年度は以下の活動を行ってまいりました。

- ・ 平成23年 7月 関東支部総会 (参加者19名)
- ・ 同 10月 秋のレクリエーション:
横須賀軍港めぐり&三笠公園 (神奈川県) (同、18名)
- ・ 同 11月 第22回 クラブOH!海土 懇親ゴルフ大会 (同、8名)
- ・ 平成24年 1月 広報誌第10号 (2012年冬版) 発行
- ・ 同 1月 新年会 (同、24名)
- ・ 同 4月 第23回 クラブOH!海土 懇親ゴルフ大会 (同、8名)
- ・ 平成24年 7月 広報誌第11号 (2013年夏版) 発行
- ・ その他、年間を通して幹事会を開催 (5回)

関東支部では、毎年、愛媛大学から先生をお招きしてご講演を頂く総会を始めとして、多彩な方面で活躍されているOB / OGの方にご講演をお願いしている新年会、年に2回の懇親ゴルフ大会、さらには、幅広い年齢層の方々と一緒に楽しめるように企画している秋のレクリエーションを活動の4つの柱としています。

幹事一同、少しでも会を盛り上げていきたいと頑張っておりますので、お近くの方は、ぜひ、お気軽に参加して頂ければと考えております。また、就職・転勤など

で関東地区に転入された方は、是非、ご一報下さい。

最後になりますが、H24年10月20日土曜日に、横須賀の猿島にて、秋のレクリエーション・バーベキュー大会を開催いたしました。14名の (幅広い年齢層の) 会員の方々の参加を賜り、爽やかな秋晴れの下、美味しいお肉とビールを堪能しました。



秋のレクリエーション (猿島バーベキュー大会) のお知らせ

お彼岸がすぎ朝、晩はすこしやすいい日が多くなりましたが、皆様、お元気で過ごしてでしょうか。さて、総会でもご案内を差し上げております通り、愛媛大学土木海洋会・関東支部主催の「秋のレクリエーション・猿島バーベキュー大会」を以下の日程で開催致します。

場所は、横須賀・三笠公園横の三笠桟橋から10分間の連絡船の旅で到着する、“そこに立っただけで非常に気持ちの良い”猿島です。

昨年は残念ながら猿島でのバーベキューが出来ず急遽、横須賀軍港めぐりになりました。今年は、昨年のリベンジを果たすべく猿島でのバーベキューをメインに考えております。

なお、雨天の場合は、都内でボウリングを予定しております。

今年は、より多くのOB/OGとご家族の方々のご参加をお待ちしておりますので、皆さん、ぜひともご参加方、宜しくお願い申し上げます。

1. 日時：平成24年10月20日(土) 午前10時集合
2. 集合場所：三笠公園東郷元帥像前 (京浜急行 横須賀中央駅より徒歩15分)
3. 会費：4,000円(31歳以上)、3,000円(30歳以下)、2,000円(ご家族)、1,000円(小学生以下)
4. 連絡先：関東支部幹事 塚原 靖男 Eメール：tukahara@mes.co.jp



猿島MAP



バーベキュー開始！！



愛のトンネルにて



軍港クルーズ



三笠公園にて



上船場所

以上

近畿支部幹事長になって

近畿支部幹事長 鈴木 忠彰 (土木47年卒)



平成24年に近畿支部幹事長を拝命いたしました。34年間勤続したゼネコンを平成17年末に早期退職してからは建設業とはほとんど関係のないところで居ましたので、皆様のお役にたてるかどうか不安ながら引受させて頂きました。

支部活動のおもな行事は、7月の総会に始まり、1月の新年会、それと懇親会ゴルフ等です。総会・新年会では大学本部からの来賓とともに、名誉教授で関西在住の豊国先生や稲田先生にご出席をおおぎ大学本部の現状紹介や、先端技術の紹介等を通じて会員との懇親を深めて頂いており

ます。

私ごとですが、日本の高度成長期からリーマンショック前夜までジェットコースターのごとき体験をしました。思い起こせば大学4年生の時、大久保禎二助教授(当時)から「今のような引手あまたの就職状況は歴史的にみてもたいへん特異な時期です。必ず今とは一変の就職難の時代が必ず訪れることを忘れないでください。」というお話をお聞きしたことを、その時以来ずっと忘れず頭の片隅におぼえておりました。建設業界(=日本経済)がきびしい環境に移行しつつあるときに、ああその時が訪れつつあるな、と自分なりにその心構えをしていったように思います。

「愛媛大学で4年間学んだお陰で今の自分が存在出来ている。」と現役引退してからもいつも諸先生・諸先輩・級友・後輩諸氏に感謝しています。愛媛大学には他大学には無いなにか特別の素晴らしいものが有ります。

幹事長の大役をお引き受けしてから日も浅く、やるべき事も理解不足で足手まといですが、本部・近畿支部の諸先輩が培ってきた良き伝統気風を維持しつつ、また他支部とのコミュニケーションも良くとりながら、ご指導いただき重責をはたしていきたいと思っております。また目まぐるしく変化する時代のニーズに適応し、会員のみなさまが足を運んでいただけるような会の運営に微力ながらお役にたてればと思っております。

どうか皆様よろしくお願い申し上げます。

今後の中国支部のあり方

中国支部幹事長 村下 耕荘 (海洋54年卒)



当支部では、原則として毎年7月に役員会、8月に総会、12月に忘年会を行ってきました。

役員会では、前年度の当支部の決算状況の確認、当該年度の活動方針、予算の決定などを行ってきました。

総会では上記役員会で決定した決算、予算の承認など行ってきました。

最近の忘年会は愛媛大学の先生による講演会、この忘年会には他学科の卒業生の参加も受け入れてきました。

その他の活動としまして、ゴルフコンペ補助、個別同窓会補助を行ってきました。

以上、簡単ですが、当支部の最近の活動状況です。

ここからは私個人の提案です。

他支部の活動は活発なようですが、当支部の活動はじり貧状態です。ここ数年役員会への参加者数は役員数の半分以下、総会への参加者は10人程度、忘年会への参加者は15人程度です。特に官の現役の参加者は一人いるかいないかの状況で、他の支部のように官と民が一体となった組織になっていません。

その理由として、コンプライアンスの厳格化などより、会に参加しても得るべきメリットが少なくなったのが最大の原因と考えられます。以前は会に参加することにより官や同業他社からの情報を得て、自分の仕事上のメリットが享受できたのが、現在はそのような参加するメリットが感じられなくなったなどが考えられます。要するに若い人は、会に参加しても費用対効果が得にくくなったと考えているようです。

他の理由として、活動内容のマンネリ化、会費未納入による参加しにくい状況などが考えられます。

今後、このままでは当支部は衰退していくばかりではなかろうかと考えています。

そこで、当支部総会を中国地方の土木海洋会卒業生の合同同窓会へ衣替えすることを提案します。今後、当支部の役員会は合同同窓会補助機関へ移行することを提案します。

具体的な合同同窓会対象者の例は次のとおりです。

【例1：同窓会の対象者は中国5県で複数の学科の同学年（原則学年幅4年）の卒業生】

1回目：採鉱科（1～5期生）+ 鉱山学科（1～5期生）+ 土木工学科（1～4期）、海洋工学科（1～4期）、土木海洋学科（1～4期）、環境建設工学科（1～4期）

【例2：大学卒業後5,10,15,20,25,30,35,40年などのきりが良い卒業生】

【例3：中国5県の各県の東西南北地区での土木海洋会卒業生（地区を限定して開催）】

合同同窓会を行おうとする際の課題と対応案を列挙します。

- ①幹事は誰が行うのか。→合同同窓会の幹事学科は若い世代の土木海洋科、境建設工学科とし、幹事は大学卒業時の教官が当時の学生を強制的に複数指名する。
- ②連絡方法はどうか。→本部から該当者の電子データをもらい、はがきで連絡する（はがき代、印刷費等は支部から補助金を支給する）。
- ③参加費はどうか。→支部から同窓会補助費を支給（一人あたりの支給額は要検討）する。ただし、会費納入者と未納入者には参加費に差をつける。
- ④合同同窓会の内容はどうか。→原則合同同窓会幹事に一任する。（懇親会だけでも可）
- ⑤設定した対象者しか参加できないのか→基本的には来るものは拒まずのスタンスとする。

以上、私個人として提案させていただきました。本部の方でも検討をしていただければと思います。

愛媛支部活動報告

支部長 玉井 良二 (土木S54年卒)
副支部長 高橋 正雄 (土木S55年卒)
幹事長 白石 誠 (土海H11年卒)

愛媛大学土木海洋会会員の皆様におかれましては、ご活躍のことと存じ上げます。また、日頃より土木海洋会愛媛支部の活動にご理解、ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

さて、土木海洋会だよりの紙面をお借りして、平成23年度の活動報告を致します。

【平成23年度事業報告】

平成23年度は、役員会をはじめとして、ゴルフコンペを2回、忘年会を開催し、多数の出席を頂きました。詳細は下記に示します。また、ゴルフコンペと忘年会につきましては後ほど詳しくご説明します。

役員会開催 (H23.7.9) 議題：新規役員その他について	出席者19名
支部総会 (H23.8.20) 愛媛大学 校友会館	出席者15名
本部総会 (H23.8.20) 愛媛大学 校友会館	
愛媛支部 ゴルフコンペ (H23.11.5) サンセットヒルズカントリークラブ	参加者8名
愛媛支部 忘年会 (H23.11.26) 伊予鉄会館	参加者31名
愛媛支部 第50回愛媛マラソン (H24.2.5) 松山市内	参加者3名
愛媛支部 ゴルフコンペ (H24.6.16) サンセットヒルズカントリークラブ	参加者11名

【平成23年度会計報告】

平成24年6月30日時点での会計報告を下記に示します。

収 入	支 出
前年度繰越金 759,415円	役員会開催 47,500円
本部からの補助金 100,000円	ゴルフコンペ補助 57,000円
利 息 108円	忘年会案内等 4,500円
	忘年会補助 62,000円
	忘年会写真現像代等 4,442円
	同窓会等補助 9,000円
	次年度繰越金 675,081円
収入合計 859,523円	支出合計 859,523円

【平成24年度予算報告】

平成24年度の予算報告を下記に示します。

収 入	支 出
前年度繰越金 675,081円	役員会開催 40,000円
本部からの補助金 100,000円	印刷通信費 (葉書、写真プリント等) 10,000円
利 息 100円	支部主催ゴルフコンペ補助 60,000円
	忘年会補助等 70,000円
	同窓会等補助 10,000円
	予備費 585,181円
収入合計 775,181円	支出合計 775,181円

【平成24年度事業計画】

平成24年度の事業計画につきましては、この土木海洋会だよりをご覧になるころには、支部総会、本部総会、第1回支部主催ゴルフコンペと忘年会は実施済みとなっていることと思います。

第2回ゴルフコンペなど、今後も行事を考えておりますので、多数の方の参加を心よりお待ちしております。また、同窓会を開催される場合には、「愛媛大学土木海洋会愛媛支部活動補助金交付要綱」に基づき、一人当たり最大3,000円の補助金を交付しますのでご活用ください。

役員会 (H24.7.28) 伊予鉄会館
 支部総会 (H24.8.25) 愛媛大学 校友会館
 本部総会 (H24.8.25) 愛媛大学 校友会館
 愛媛支部 ゴルフコンペ (H24.11.10予定)
 愛媛支部 忘年会 (H24.11.24予定)
 愛媛支部 ゴルフコンペ (H25.2~3)
 その他 同窓会等補助など

【平成24年度役員紹介】

平成24年8月25日の支部総会より次年度の総会までの間、次に示します役員により、愛媛支部の運営を行ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

支 部 長	玉井 良二 (土木S54年)	松山市
副支部長	高橋 正雄 (海洋S55年)	三井住友建設株式会社
幹 事 長	白石 誠 (土海H11年)	松山市
幹 事	大賀水田生 (土木S49年)	愛媛大学
	勝谷 雄三 (土木S49年)	松山市
	山田 康晴 (土木S53年)	愛媛県
	飯田 和樹 (海洋S54年)	四国小松フォークリフト(株)
	中尾 均 (土木S54年)	伊予鉄道株式会社
	福岡 修一 (土木S55年)	ショーボンド建設株式会社
	村上 浩司 (海洋S55年)	芙蓉コンサルタント株式会社
	加藤 幸彦 (土木S55年)	(株)四電技術コンサルタント
	永井 康生 (土木S56年)	愛媛県
	白石 研司 (土木S58年)	株式会社平成工業
	大倉 修 (土木S62年)	愛媛県
	栗原 弘和 (土木H2年)	(株)四電技術コンサルタント
	渡邊 政富 (土木H2年)	渡邊建設株式会社
	山本 修嗣 (海洋H2年)	五洋建設株式会社
	谷口 貞広 (土海H7年)	松山市
	明日 孝憲 (土海H9年)	愛媛県
	木村 将伸 (環建H12年)	松山市
監 事	友近 榮治 (土木S48年)	南海測量設計(株)

なお、支部の運営やご意見などがございましたら、遠慮なく幹事長にご一報いただきたいと考えております。いただきました意見等を参考に、支部の運営をよりよいものにしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【平成23年度のおもな行事の紹介】

★愛媛支部主催 ゴルフコンペ (11月) ★



平成23年11月5日(出)にサンセットヒルズカントリークラブで開催されたゴルフコンペの集合写真です。
総勢8名で競われた結果は、優勝は山田康晴さん(土木S53年卒)、準優勝は日下正明さん(土木S56年卒)でした。初心者歓迎します！

★平成23年度 忘年会★



平成23年11月26日(出)に伊予鉄会館において、31名の参加により行われました。みなさんの近況を報告していただき、有意義な忘年会でした。
産官学の方々が気兼ねなく集える場所ですので、有意義な時間が過ごせることは間違いありません。今後の忘年会には是非とも参加のほどよろしくお願いいたします。

★第50回 愛媛マラソン参加 (2月) ★



平成24年2月5日(日)半世紀の歴史を刻んだ「第50回愛媛マラソン (7352人エントリー)」に“愛媛大学土木海洋会”登録名の下に3名が参加。山本修嗣(海洋4年修了)、塩田耕司(土海6年修了)、稲村貴志(土海10卒)の3名ともに、見事、無事に完走いたしました。

★愛媛支部主催 ゴルフコンペ (6月) ★



平成24年6月16日(出)にサンセットヒルズカントリークラブで開催されたゴルフコンペの集合写真です。
総勢11名で競われた結果は、優勝は砂田元さん(土木S45年卒)、準優勝は加藤幸彦さん(土木S55年卒)でした。

以上、愛媛支部の活動報告を終わります。

鉾山S35年入学同期会

片上 尚男 (鉾山39年卒)

2012 日程	
9/11 (火) エリエールゴルフクラブ松山 10:20 ~	にぎたつ会館 17:00 (道後)
12 (水) 道後 — 内子 — 大洲 — 鹿野川荘 17:00	大洲市脇川町
8:00	<ul style="list-style-type: none"> ○八日市町並 ○上芳我邸 ○内子座 ○大洲城 ○臥龍山荘 ○富士山 (320m)
13 (木) 鹿野川荘 — 長浜 — 愛媛大学 — にぎたつ会館 17:00	悲観会 18:00 ~
10:30	<ul style="list-style-type: none"> ○長浜大橋 ○ミュージアム
14 (金) にぎたつ会館 — ゴルフ (稲村・小松・江口)	
	<ul style="list-style-type: none"> …サンセットヒルズカントリークラブ 8:35 ~ 片上 (みやぎ愛媛県人会会長) …震災で世話になった県庁・愛媛新聞社へ御礼報告 柳生…レンタサイクルで想い出訪ね 中村…倉敷・大原美術館

このたびの松山での最終同期会？4日間にわたり盛大に行われお疲れさまでした。とても70歳以上とは思えないほど元気潑刺で、また好奇心旺盛な方々ばかりで良く飲み、良く食べ、よく遊ぶ集団に驚きました。

この調子だと同期会は傘寿の頃まで2~3回やらないと納まりそうもない威勢のいい感じですね。

今回の幹事役、大門さん、江口さんの細かい気配りで観光、大学見学、ゴルフと非常に楽しい、思い出にのこる同期会になったことに対し厚く御礼申し上げます。

大洲、長浜、愛大の写真が出来上がり同封いたしましたのでお納め下さい。

担当記者の独断と偏見で今回の3大ニュースを決定いたしましたので発表します。

35年入学同期会3大ニュース

- 第1位 大門、全てを告白、全容解明、一件落着
- 第2位 ラブラブ中村、二人の馴れ初め結婚の経緯を公表
- 第3位 テクノ小松、電話で注文殺到、業績拡大、今期は増収増益

- 番外編
- * 稲村、松山駅でびっくり仰天
 - * 追試で進級は江口、片上
 - * 物まね柳生、レパトリー拡大



後列 中村 柳生 小松 稲村 大門
前列 江口 片上 工学部長大賀水田生教授 伊藤 (青野) ツユ子さん 山内琴司さん (S49年土木卒)

同期会 (昭和42年 土木工学科卒) 報告

河野 徹 (土木42年卒)

昨年平成23年、久しぶりの第3回、同期会を松山で開催し、その場で第4回は広島で開催することを決めた。同期生の中には古希を過ぎた者も出てきており、何時会えなくなるかわからないとのことで、今後は毎年どこかの地で開催することで合意した。

今年は広島開催で安芸 (秋) の国であるから、開催季節はやはり秋が良いだろう

平成24年度 愛媛大学土木海洋会 総会 議事録

開催日時：平成24年8月25日(土) 午後3時～
開催場所：愛媛大学校友会館
出席者数：32名

議 題
議 長：河野 徹 会長

1) 平成23年度事業報告について

木下幹事長より、総会資料-1に基づき、平成23年度中に実施された諸事業について説明がなされ、これらが全会一致で承認された。

2) 平成23年度決算報告について

木下幹事長より、総会資料-2に基づき、平成23年度の決算報告がなされるとともに、この会計について大門監事より適正であることを認める旨の会計監査結果報告がなされ、これらが全会一致で承認された。

3) 平成24年度役員について

木下幹事長より、総会資料-3に基づき、平成24年度役員（案）について説明がなされ、本案が全会一致で承認された。

平成24年度の新役員は、以下のとおり。

- 副会長：吉井 稔雄（教授）、土岐 睦弘（土50）、大橋 健一（土47）
- 幹事長：門田 章宏（土4）
- 幹 事：木下 尚樹（土63）、鈴木 忠彰（土47）
- 評議員：山野邊憲正（土47）、菊池 紗帆（環24）、崎山久美子（環24）

4) 平成24年度事業計画について

木下幹事長より、総会資料-4に基づき、平成24年度事業計画（案）について説明がなされ、本案が全会一致で承認された。

なお、同窓会活性化、会費増収のための意見が出され、事務局を中心に検討し、可能なものから実施することとなった。おもな意見は以下の通り

- ・ 役員組織を見直すとともに、総会以前の別日（6月頃）に役員会を開催し、

ということで、10月4、5日に開催した。

当初、参加予定の吉住は直前に実母の逝去と不幸があつて欠席となり、結局のところ昨年の松山開催から1名（川田）が欠席し、6名の会合となった。

内訳は、千葉からは梁田、神奈川県川崎から篠原、徳島から坂田、松山からは大門、それに広島からは新宮と私（河野）が参加した。

初日は平和公園、平和記念館の散策、懇親会、そしてカラオケと続き、主に広島市内で過ごした。懇親会場とした豆匠は以前は蔵屋（ふせや）と称し、吉兆から料理長を呼んで、店が客を選ぶといったいわゆる広島で最高級の料亭であった。しかしそのような商売が長く続くはずもなく、現在の料金は当時の1/10で高級感が味わえる料亭に変貌していた。

2日目は現在、NHKドラマ平清盛で名を馳せている宮島を散策した後、昼食は島を離れ宮島口駅前の「うえの」で名物「アナゴ飯」を食した。

広島は久しぶりで、1泊2日は不十分という者もいて、大門、坂田はもう1泊拙宅で過ごすことになり、私の15年来の料理教室の成果を披露することができた。

殆どの者が第一線を退き、お寺、お宮のお世話の総代などをして、時間が取れないとばかりに嘆いている。忙しいうちが花で、毎日何もすることがないと寂しくなるのではと気が付いた次第である。

来年の同期会は外国でと言うことで、すぐ近くのソウルで開催することにした。世話役は今までの付き合いで、研究者仲間、実務者仲間が韓国に沢山いる私（河野）が又、出しゃばって担当する事となった。



昭和42年愛大土木卒同期会 2012年10月4日 豆匠（広島）

愛媛大学土木海洋会平成24年度予算(案)
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

収 入		支 出		
項 目	金 額	項 目	金 額	金 額
前年度予備費	1,272,402		(23年度決算)	(予 算)
平成24年度会費 (1030口)	3,090,000	印刷費	929,617	1,050,000
広告掲載料 (29社)	580,000	郵便・通信費	583,090	630,000
寄付金	200,000	旅費 (教員派遣、総会出席)	540,000	550,000
利息	150	支部援助金	400,000	400,000
その他	0	援助金 (学内、同窓会、同期会)	34,000	100,000
		会議費	4,080	10,000
		謝金	751,500	750,000
		雑費 (文具、手数料)	221,560	200,000
合 計	5,142,552	小 計	3,463,847	3,690,000
		次年度繰越金		1,452,552
		合 計		5,142,552

事務局だより

1. 会費についての内規

平成12年より70歳以上の会員の会費は免除することにしております。また60歳以上の会員は終身会費として会費を一括払いすることができるようになっておりますのでご活用ください。なお会員の方々の年齢は卒業年次により計算させていただいておりますことをご了承ください。

会費についての内規

1. 会費は、年額3,000円とする。ただし、70歳以上の会員の会費は免除する。
2. 60歳以上の会員は、終身会費として一括払いをすることができる。終身会費は、60歳以上65歳未満の会員に対しては、20,000円、65歳以上の会員に対しては、10,000円とする。
3. この内規の変更は、総会の議決による。

2. 会合への助成金制度

この制度は、同窓生の皆様に、同窓会活動を活発化していただくために設けられたものです。同窓生の親睦などの目的に活用していただきたいと思います。下記の細則2の提出物を添えてお申し込みください。事前のご相談もお受けいたします。

〈同期会・研究室同窓会・職場班会・地区同窓会などに対する助成金制度〉

助成金額：出席者会員1名当り1,000円を上限とする。ただし、会員5名以上の会合で、助成最高額は50,000円とする。

上記助成金制度の細則

細則1. 助成対象

出席者の全員または一部が会員である会合に対し助成する。

細則2. 本部事務局への提出物

1. 案内状1部（土木海洋会への会費納入催促の文をなるべく記載のこと）

2. 最終出席者名簿1部（氏名、卒業学科・年、その他（勤務先、住所など）
3. 集合写真1枚（日付入り）
4. 住所変更の報告
5. 土木海洋会だよりへの投稿原稿

細則3. 助成回数

同一組織による会合への助成は、年度内において1回とする。

上記の助成は、平成9年度より実施する。

3. ホームページについて

土木海洋会のホームページを開設しました。行事等の情報を掲載いたしますのでぜひご覧ください。支部行事、会合の案内等のホームページへの掲載を希望される場合は事務局までご連絡ください。

土木海洋会ホームページアドレス <http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~dokai/>

4. 土木海洋会だよりへの投稿のお願い

毎年12月に発行しております「土木海洋会だより」への掲載記事を募集しております。

個人・グループの近況、活動報告、技術記事などを寄稿ください。掲載ご希望の方は事務局までご連絡ください。

愛媛大学土木海洋会だより 第18号

発行日 平成24年11月20日

発行者 愛媛大学土木海洋会

〒790-8577 松山市文京町3番

愛媛大学工学部環境建設工学科内

☎ 089-927-9823

FAX 089-927-9823

Eメール dokai@cee.ehime-u.ac.jp

郵便振替 加入者名：愛媛大学土木海洋会

口座番号：01640-6-37779

銀行口座 加入者名：愛媛大学土木海洋会

伊予銀行城北支店（支店番号150）

普通口座 150-1-1231698

ゆうちょ銀行一六九（イチロクキュウ）店

当座 0037779
